

ボランティア富津 あしたは

題字 角田 栄子

編集・発行
富津市ボランティア
連絡協議会
会長 小川 伸

問い合わせ
ボランティアセンター
Tel 0439-87-9611

地域別

（君津地区）

ボランティア

研修会ひらかれる！

去る1月29日（水）富津市役所大会議室において地域別（君津地区）V研修会が開かれました。これは千葉県V連絡協議会が主催したもので毎年県の各地区（安房、山武等）をランダムに巡回して開催されます。開催地として君津地区が選ばれたのは6回目、開催市として富津が選ばれたのは平成24年以来のことです。当時のテーマは災害非常食でした。

講演 心のアプリで健康長寿

佐久間勇氏

日本語は縦書きで1文字1音だから縦書き1列目を横に読んで意味がある言葉になるよう織り込むことができます。同音で別の意味がある言葉が多いからダジャレも作りやすい。これらの特徴をうまく使った例えは説教調の文章を作ると嫌みがなくなり逆に人々が感心してなるほどと納得することになります。歴史上有名なものは「いろはにほへと」7文字で行替えて「と」の7列目を横に読

君津健康体操

平田隊長

佐久間勇氏による講演「心のサプリで健康長寿」と、君津、袖ヶ浦、木更津富津の各市ボランティア有志による体操、舞踊などの活動が披露されました。参加者は4市は勿論、鴨川、富里、山武、栄町からも来られました。



さて、ボランティア（ネイティブ語）感では真つ先に手を上げる意味が強い（で舞台上上がった7人のスーパーモデルの感想は？）全員「体がすこやかになるようになりました。」

木更津傾聴V「たんぽぽ」

聞き慣れない「傾聴」とは、高齢者施設や個人宅で聴き手になる、伺った自身の持つ持っている価値観や評価基準のフィルターにかけないで、問題を

ムバンドを自身の体にたすき掛けして踊る。ちびまる子ポコリン体操を提案します。まず普通に漫然？とポコリンと、次にゴムバンドたすき掛けでポコリンと、2回。

パワーあふれる指導ぶりでした。たすき掛けは姿勢をまっすぐにする意味を持っているとのこと。



んで行くと「咎なくて死す」という言葉が出てきます。同じように「有難い」は本来の意味からずれて感謝の言葉になったり、「辛い」が横線を1本加えると「幸せ」になったりします。さて、パクリでなく私が呻吟して作ったものを披露します。



道で出会った人との挨拶、何か知らないが同時に意識してタイミングを探る心理戦がありますよね。これの解決法です。一列目を横に読めば「あいさつ」で話が落ちます。

婆様の座右銘、右回りにしりとり読みすると「会話」、「笑い」、「生き

袖ヶ浦音頭 同市V連協

解決する糸口を自ら見つけてもらうこと。そうなるように導いていく方法です。カウセンシングやコーチングに近いものです。「たんぽぽ」は平成28年発足して現在の会員数11名。ふたつの事例紹介をされました。



袖ヶ浦音頭は1代目は春日八郎に歌ってもらったもの。今年度発表された2代目は氣志團作詞作曲。この2曲を洒落た法被での踊りで披露。

ふっつんお絵描き音頭 いどばたの会

ふっつん応援選手連でSさん自身も元氣一杯。ふっつんは「ふ」の字を発展させたデザインだから絵の書き順を教えれば誰でも描ける、という発想で作詞作曲振り付けすべてボランティアで作ってしまった。ついでに知り合いの歌手、ピアニストに頼んでCD化、さらにアニメをも全部ボラ



ティアに頼んだ。いどばたの会も負けじと今日の晴れ舞台。ふっつんも会場に来てくれま

佐久間勇氏プロフィール



富津市出身、昭和30年生まれ。木更津市消防署に34年間勤務。この間放送大学に入学して「人間の探求」専攻。52歳で早期退職。富津市議会議員3期12年間。保護司も務める。現在は生活支援コーディネーター・フレイルサポーターとして富津市に登録。ふっつんお絵描き音頭の作詞作曲振付まで出来る多才家である。

